ボーリング柱状図

調　査　名　鳥取県立美術館(仮称)整備に係る地質調査及び測量業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	BP-1	調査位置	鳥取県　倉吉市　駄経寺町			北　緯	35°　25'　57.8"
発注機関	鳥取県　総務部　営繕課			調査期間	令和　1年　6月　12日　～　1年　6月　19日	東　経	133°　50'　21.8"
調査業者名	アサヒコンサルタント株式会社 電話（0857-28-5191）	主任技師	舞立剛志	現場代理人	尾崎浩一	コア鑑定者	舞立剛志
						ボーリング責任者	豊田善雄
孔口標高	15.83m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°
総掘進長	21.00m					使用機種	

試錐機	YS0-1	ハンマー落下用具	半自動
エンジン	NFAD-10	ポンプ	CP65

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	14.83	1.00	1.00		マサ土	黄褐	-		マサ土を主とした。 不均一なシルト混じり砂状でコア採取される。 φ10mm以下の角礫を混入。
	11.23	3.60	4.60		シルト・砂互層	灰～暗灰	非常に緩い		砂質土主体であるが、不規則にシルトおよび火山灰質粘土を挟む。 GL-1.00～1.45m 礫混じり砂 GL-1.45～1.70m 火山灰質粘土 GL-1.70～2.30m シルト混じり砂 GL-2.30～2.60m 砂混じりシルト GL-2.60～3.30m 礫混じり砂 GL-3.30～3.65m シルト GL-3.65～4.40m 砂が主体であるが、GL-3.95m付近にφ40mmの花崗岩礫を混入し、GL-3.65～3.95m 微砂を挟む。GL-3.95～4.40m間は粗砂主体。 GL-4.40～4.60 砂質シルト
	7.63	3.60	8.20		砂礫	灰	中ぐらい		φ30～50mm以下の硬質な円礫を多く混入した砂礫 礫間を充填するマトリックスは、緩く流出しやすい。 礫は硬質な花崗岩および安山岩よりなる。 含水は、中～高位。
	5.43	2.20	10.40		有機物混じりシルト	暗灰		軟らかい～中位	全体に均質なシルトからなるが、局所的に砂礫を挟む。 GL-8.55～8.75m 層状に褐色を帯びた砂礫が混入する。 GL-9.80～10.20m 炭化した有機物を多量に混入し、黒色を帯びる。
	3.83	1.60	12.00		有機物混じりシルト質砂	暗灰	緩い		シルトを多く混入した微砂よりなる。 全体に含水は中～高位であるが、特にGL-10.65～11.00mは高含水。
	2.83	1.00	13.00		砂混じりシルト	暗灰		軟らかい	微砂を混入したシルトよりなる。 含水は中～低位。 GL-12.75～13.00m 砂分(微砂)が卓越する。
	1.33	1.50	14.50		玉石まじり砂礫	暗灰	中ぐらい～密な		全体に、L=10cm程度の玉石を多く混入した砂礫よりなる。 礫間を充填するマトリックスは、粗砂を主体とする。 玉石の最大コア長は、L=12cm程度。
	0.53	0.80	15.30		礫混じり砂	灰	中ぐらい		全体に高含水で崩壊性が大きく、ボイリングを起こす砂層 GL-14.80～14.90m 礫層を挟む。
	-0.07	0.60	15.90		砂礫	暗灰	密な		全体にφ20～30mm程度の礫を混入した砂礫。 礫間を充填するマトリックスは粗砂主体。
	-5.17	5.10	21.00		玉石混じり砂礫	褐灰	非常に密な		性状より駄経寺礫層と推定される。 所々にL=10cm前後の玉石を混入した砂礫。 玉石間を充填するマトリックスはφ50mm以下の礫を多く含んだ粗砂よりなる。 マトリックスは花崗岩質の粒子よりなり、続成作用が進行し固結している。 玉石の形状は、亜円礫状のものが主体。 GL-18.0m以深は、礫率が高くなる。 玉石の最大コア長は、L=25cm程度。

孔内水位(m)／測定月日：6/13 2.58

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1			1	1
1.45	30			30	
2.15	1	1		2	2
2.45	16	14		30	
3.15	4	2	1	7	7
3.45		15	5	30	
4.15	3	3	1	7	7
4.45				30	
5.15	10	13	13	36	36
5.45				30	
6.15	7	5	7	19	19
6.45				30	
7.15	4	3	4	11	11
7.45				30	
8.15	2	1	1	4	4
8.45	5	11	14	30	
9.15	1	1		2	2
9.45	16	14		30	
10.15	1	1	1	3	3
10.45	15		5	30	
11.15	1	1	2	4	3
11.50			15	35	
12.15	1	1	1	3	3
12.50		15		35	
13.15	10	13	11	34	34
13.45				30	
14.15	8	11	9	28	28
14.45				30	
15.15	5	10	16	31	31
15.45				30	
16.15	16	21	13	50	54
16.43			8	28	
17.15	22	20	8	50	54
17.43			8	28	
18.00	9	10	31	50	115
18.13	5	5	3	13	
19.00	10	40		50	150
19.10	5	5		10	
20.00	15	35		50	150
20.10	5	5		10	
21.15	50			50	300
21.20	5			5	

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
2.00	孔内水平載荷 2,400kN/m²
2.00	
3.50	孔内水平載荷 2,700kN/m²
3.50	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）
3.15	P1-1	Ⓟ	密度, 粒度, 液塑
3.45			
4.15	P1-2	Ⓟ	密度, 粒度, 液塑
4.45			
7.15	P1-3	Ⓟ	密度, 粒度, 液塑
7.45			
9.30	T1-1	Ⓣ	密度, 含水, 粒度, 液塑, 軸圧
10.10			
10.15	P1-4	Ⓟ	密度, 粒度, 液塑
10.45			
11.15	P1-5	Ⓟ	密度, 粒度, 液塑
11.50			
12.15	P1-6	Ⓟ	密度, 粒度, 液塑
12.50			
15.15	P1-7	Ⓟ	密度, 粒度, 液塑
15.45			

掘進月日：6/12, 6/13, 6/14, 6/17, 6/18, 6/19